

農繁期

レポート

令和2年 4-5月号

エースファーム

オーナー 株式会社エース
水田面積 20.1アール
保証量 玄米 905kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀

今年は新型コロナウイルスで日本経済も厳しくなっています。その様な状況下に於いても、オーナーとなって頂いています事に感謝しお礼申し上げます。田植えイベントは中止となりましたが農作業は順調に進み、5月10日に無事に田植えを終えました。植えた当初は色も悪く、弱々しい苗でしたが、約2週間経ち緑色も濃くなり、しっかりした稲になって来たように感じます。これから9月の収穫迄しっかりと管理し、昨年になげない様なお米をお届けしたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

4月～5月の作業内容

1. 井出さらい

井出＝水路のことで、秋から春にかけて水路に溜まった泥や葉っぱ等を集落ごとに協力して掃除をします。お米づくりには沢山の水が必要になるため、田植え前の重要な準備です。



井出さらい(水路掃除)

2. 育苗(いくびょう)

種を直接田に植えると気温変化の影響を受ける為、環境を一定にした育苗ハウスで根の張りや硬さを見て 12cm位まで育てます。苗半作(なえはんさく)という言葉があるほど苗づくりは稲の生育や収量に大きく左右します。



育苗

3. 田起こし・荒起こし

良い土壌にするためにトラクターで田を掘り起こします。雑草の根を断ち、土の中に酸素を取り込みながら有機物を埋没させます。この時、海藻肥料もかき混ぜて土壌を最適な状態に仕上げていきます。



荒起こし

4. 田植え・水の管理

苗を田んぼに移植することを「田植え」と言い、地域によって水温気温等の条件が違うため時期も異なります。田植え機で肥料も一緒に撒くと、苗の即栄養となって、田んぼへの根ハリや成長促進の効果がります。



田植え